

令和4年度 7月朝会(校長講話)

おはようございます。

いよいよ明日から7月になります。皆さんが楽しみにしている夏休みまで学校に登校する日が残り今日を入れて14日となりました。

さて、皆さんは毎日掃除をしています。そこで皆さんに質問します。掃除は誰のためにするのですか。先生のためですか。友達のためですか。自分を含めた中居小のみんなのためですか。それとも自分自身のためですか。どれも間違いではないかもしれません。

掃除は汚れたところをきれいする行為です。掃除をすると、目に見えて教室の床、机の上などのほこりやごみを取り去ってきれいになるという効果があります。実は、掃除をすることで目に見えるところの効果だけでなく、目に見えないところの効果もあるのです。

それは、自分自身の「心」に対する効果です。掃除をした後、清々しい気持ち、すっきりとした気持ちを感じたことはありませんか。また、机の上をきれいにしたときに、「さあ、勉強がんばるぞ」とやる気を感じたことはありませんか。

「掃除は心を磨く」という言葉があります。掃除は、その場所をきれいにするだけでなく、自分自身の心を磨く行いです。掃除は、どんな気持ちで掃除をするかがとても大切ではないでしょうか。

1学期も残りをわずかです。1学期間お世話になった教室や廊下など、大掃除の時だけでなく、毎日の掃除の時間に気持ちを込めてきれいにしてほしいと思います。きっと、教室や廊下もきれいになり、そして、みなさんの心も磨かれてきれいになっていくことでしょう。

以上でお話を終わります。